2021年度

お客さま本位の業務運営にかかる取組状況

2022年6月

百五銀行 FRONTIER BANKING　百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

※お客さま本位の業務運営宣言および取組方針および本取組状況に表示している【原則２～７（これらに付されている（注）を含む）】は、
金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則（2021年１月15日改訂）」に対応しています。

お客さま本位の業務運営宣言～3つの約束～

お客さまの声をお聞きし、サービスの向上・業務の改善に積極的に取り組んでいます。

［原則２／原則２（注）］

■お客さまの声の収集・把握、諸改善を図っており、2021年度の主な改善・取組事項は以下の通りです。

百五銀行
FRONTIER BANKING

【提案機会の増加と質の向上によるお客さま本位の業務運営の実践】

●これまで以上にお客さまの幅広いニーズにお応えしつつ、お客さま満足度向上を図ることを目指し、2022年4月からの預り資産営業体制変更に着手しました。

『対面営業強化』

・百五銀行にコンサルプラザを新設し、営業担当者を百五証券と併設する拠点に集約。幅広い商品ラインアップを活用した提案力を強化し、スムーズな銀証連携営業を行います。

・百五銀行の営業人員を集約することでOJTによる効果的な人材教育を図り、銀証間の情報共有・ノウハウ共有にも繋げ、コンサルティング力を強化します。

『非対面営業強化』

・百五銀行では、主に電話やネット、タブレットでお客さまの資産運用に関するご案内・フォローを行う預り資産センターを新設し、特に、対面営業が困難な資産形成層のお客さまに対して、きめ細かなサポートを行う営業体制を構築しました。資産形成を含むあらゆるニーズに対応し、利便性を向上します。

百五証券
HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

【百五証券でのお客さまの声に応える取組】

●新商品の取扱開始について、ホームページで案内があると良いとの声を受け、ホームページのお知らせに掲載を開始しました。

●インターネット取引の希望が多く、サービス拡充の検討を開始しています。

●専門的な知識・マーケット情報提供力の充実を求める声が多いことに対し、定期開催する社内勉強会・研修の頻度を増やすなど、専門的なノウハウを蓄積し情報提供力を強化しています。

●百五証券では、2021年12月1日から2022年2月28日にかけて投資信託購入者に対する「お客さまアンケート」を実施。継続したご意見の収集を行っています。回答数は357通でした。

取組方針１：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

商品ラインアップと販売上位商品

［原則６］

■グループ全体でお客さまの多様なニーズに応えるため、商品ラインアップの充実に努めています。
■商品の選定にあたっては、ニーズに加えて経済情勢や市場動向も踏まえ、幅広い運用会社や保険会社の商品の中から検討しています。

百五銀行 FRONTIER BANKING

■2021年度の新規取扱商品数
投資信託：海外株式9商品、バランス5商品
保険：年金・終身3商品、事業性5商品、保障性：4商品

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	3	1.8%	国内REIT	2	1.2%	ノーロードファンド	45
内外・海外債券	31	18.5%	内外・海外REIT	4	2.4%	インデックスファンド	29
国内株式	20	11.9%	バランス	54	32.1%	販売停止	0
内外・海外株式	53	31.5%	その他	1	0.6%	合計	168

保険カテゴリー別商品数（種類別）

個人年金（一時払）	5	5.6%	定期保険（収入保障保険含む）	34	38.2%	※うち事業性保険	39
個人年金（平準払）	3	3.4%	医療保険（就業不能保険含む）	15	16.9%		
養老保険（一時払）	1	1.1%	がん保険	4	4.5%		
終身保険（一時払）	15	16.9%	傷害保険	1	1.1%		
終身保険（平準払）	7	7.9%	火災保険	3	3.4%		
学資保険	1	1.1%				合計	89

百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

■2021年度の新規取扱商品数
投資信託：海外株式17商品、バランス6商品、国内債券1商品

投資信託カテゴリー別ファンド数

国内債券	4	1.9%	国内REIT	6	2.8%	ノーロードファンド	17
内外・海外債券	31	14.7%	内外・海外REIT	7	3.3%	インデックスファンド	14
国内株式	28	13.3%	バランス	40	19.0%	販売停止	4
内外・海外株式	92	43.6%	その他	3	1.4%	合計	211

2021年度　購入上位商品

◆百五銀行
【投資信託】

	商品名	投資対象
1	野村インデックスファンド日経225	国内株式
2	日経225ノーロードオープン（累投）	国内株式
3	グローバルAIファンド（予想分配金提示型）	内外株式
4	AB米国成長株投信Dコース（為替ヘッジなし）毎月	海外株式
5	AB米国成長株投信Cコース（為替ヘッジあり）毎月	海外株式

◆百五証券
【投資信託】

	商品名	投資対象
1	脱炭素関連　世界株式戦略ファンド（資産成長型）	内外株式
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース	海外株式
3	グローバルAIファンド（予想分配金提示型）	内外株式
4	まるごとひふみ100	内外株式
5	日経225ノーロードオープン	国内株式

【一時払保険】 個人年金（全期前納）・一時払終身（平準払を除く）

	商品名	種類
1	プレミアカレンシー3	個人年金保険
2	やさしさ、つなぐ2	終身保険
3	たのしみ未来（全期前納のみ）	個人年金保険
4	はじめての介護	終身保険
5	生涯プレミアム・ワールド5	終身保険

【平準払保険】個人年金・終身保険

	商品名	種類
1	たのしみ未来	個人年金保険
2	RISE	終身保険
3	こだわり個人年金（外貨建）	個人年金保険
4	たのしみ未来グローバル	個人年金保険
5	Candle	終身保険

【平準払保険】定期・医療・がん・傷害保険

	商品名	種類
1	新メディフィットA	医療保険
2	終身ガン治療保険プレミアムZ	がん保険
3	じぶんと家族のお守り	定期保険
4	ケガと介護のそなえ	傷害保険
5	健康をサポートする医療保険　健康のお守り	医療保険

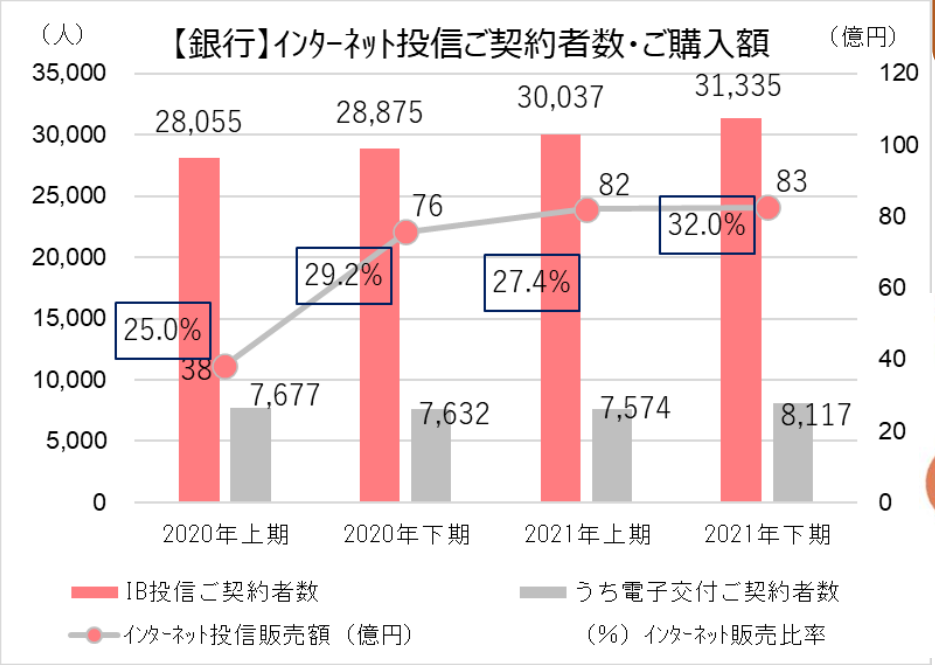
取組方針１：お客さまの資産形成にお応えする商品ラインアップ、サービスの充実を図ります。

多様なチャネルサービスの充実と利益相反の可能性

［原則３／原則３（注）／原則６］

■多様なチャネルを通じてお客さまへのサービス提供の充実を図っています。
【銀行】非対面チャネルであるインターネット投信の契約・取引利用をお勧めするため、チラシ「積立投信はじめてみませんか？（表：積立投信、裏：インターネット投信）」を活用しています。
【証券】2020年3月にインターネットサービスをリニューアルし、評価損益やトータルリターン、取引履歴の参照を可能にした他、各種帳票の電子交付サービスの取り扱いを開始しています。
2021年6月には、対面営業で活用するタブレット端末の入れ替えを行い、画面を大きく見やすい情報提供体制への改善を行いました。

百五銀行
FRONTIER BANKING



ツールを活用した
インターネット取引
の利用促進

百五証券
HYAKUGO GROUP
あなたとともに、あらたな明日を

インターネット・
電子交付
サービスの
利用促進

タブレット端末の
大画面化

■利益相反の可能性の把握・管理状況
・資本関係のある投信会社・保険会社はなく、また販売上位はもとより全ての投信会社・保険会社からの利益供与等の利益相反はありません。
・新商品採用においては、商品内容や運用実績および研修などのバックアップ体制等を総合的に勘案のうえ、リスク協議・稟議決裁を経ております。
・銀行の仲介業務および証券における債券商品に関しては、他の証券会社から外国債券等の取扱を行っています。※当行グループと資本関係にある証券会社はありません。
・手数料の高い商品に販売が偏ることなく、お客さまの利益を不当に害することが無いよう、利益相反管理方針に基づき、銀行・証券ともに各社適切に管理しています。

取組方針2　コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

ライフプランに基づく、金融商品・サービスの提案

［原則６（注１）］

■最適な資産運用プラン提案のために、お客さまのニーズ、ライフプランやリスク許容度の把握を行えるよう、各種サービス・ツールを活用し、幅広い情報提供を行っています。

【銀行】

●『ライフプランガイド』の活用

・世代別に将来のための大切なお金について考える「ライフプランガイド」を活用し、お客さまそれぞれのライフプランに合わせ金融商品・サービスの提案を実施しています。ライフイベントに合わせ、世代別に必要な資金や考えるべき資産形成、備えの方法や商品をお伝えするものであり、世代別の検討ポイントのほか、資産形成が必要な理由から、利回りの高め方、家計の見直し、お金の色分けまで、順序立ててご説明できる内容としています。

●『ほけんの相談窓口』の活用

・お客さま個々のライフプランをベースに、最適な保険のコンサルティングを行う「ほけんの相談窓口」を2013年5月に開設し、専門のコンサルタントによる生命保険相談を実施しています。お客さまの家族構成や収入等によって違いがある生命保険の必要保障額を算出したり、客観的なデータをして社会保障制度や医療事情などを確認しながら、お客さま個々のニーズに沿った保険提案の実施をする「生命保険コンサルティング」などを実施しています。

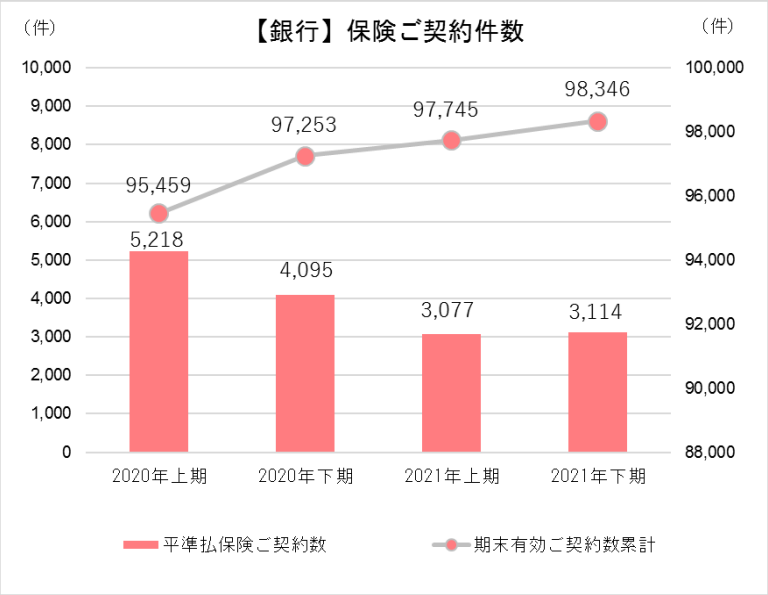
●『確定拠出年金』の積極推進

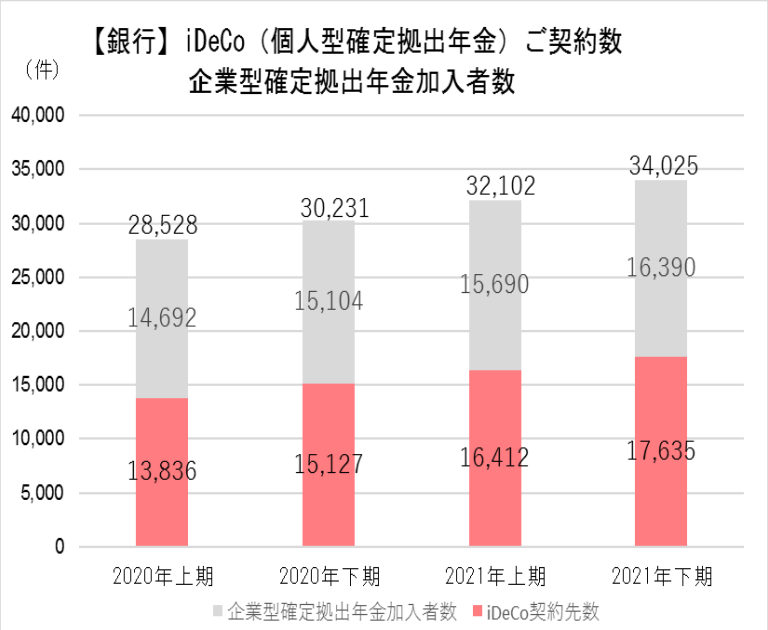
・少子高齢化の進展により先細る公的年金を補完するため、企業型確定拠出年金および個人型確定拠出年金（iDeCo）を取引先企業や地域のお客さまに紹介。iDeCo加入者向けに運用サポートアプリ「みらいナビ」の無料提供を行い、加入者の長期にわたる資産形成のサポートを行っています。

【証券】

●「百五証券取扱商品・サービスのご案内」リーフレットを活用し、お客さまのニーズや考えに合わせた商品選択をご紹介しています。

●商品ご提案時には株式・債券・投資信託のそれぞれの特徴について比較説明を行い、お客さまのニーズに合わせたご提案を行っています。また、投資信託については、販売担当者が活用するタブレットアプリ「QR1」により、ファンド比較・組み合わせ提案や、中長期での時間分散投資の効果をわかりやすくお示しし、リスク許容度に合わせたご提案を行っています。





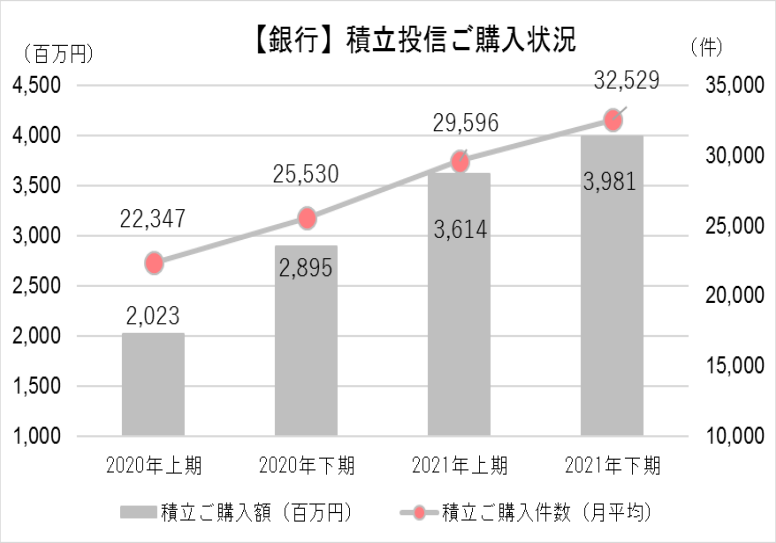
【銀行】ライフプランガイド	【銀行】みらいナビ	【銀証】取扱商品・サービスのご案内	【証券】資産運用と証券投資

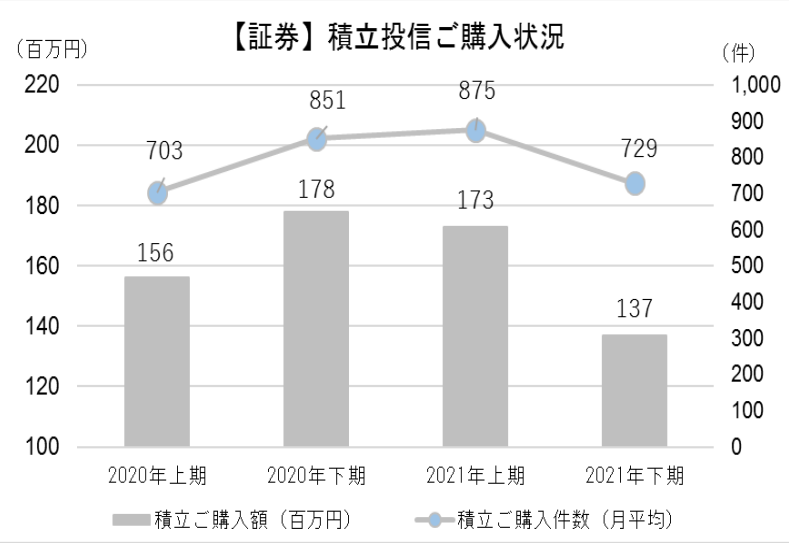
取組方針2　コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

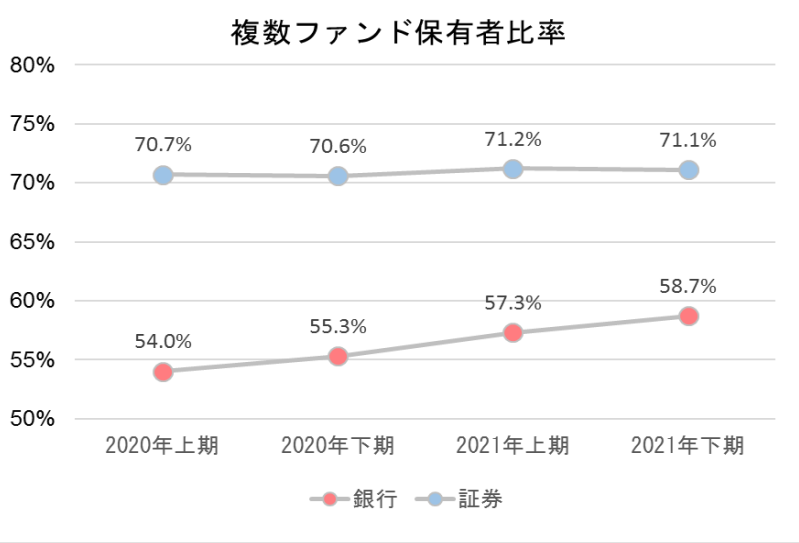
投資信託を活用した長期・積立・分散投資

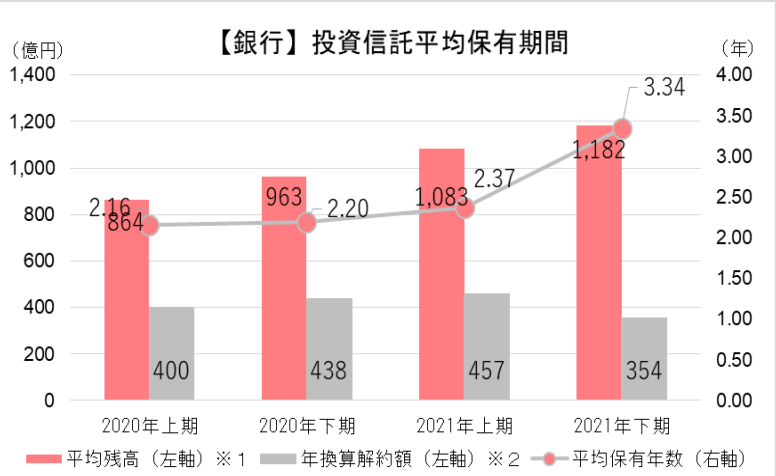
［原則６］

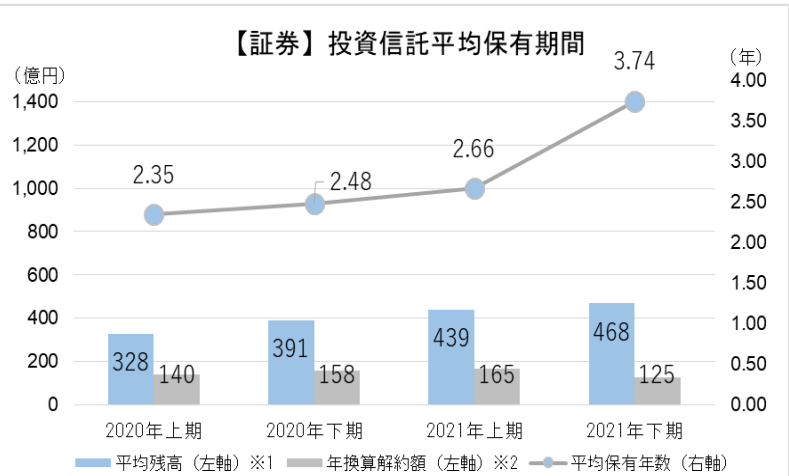
■お客さまのライフプラン・ニーズに合わせたコンサルティング提案を通じて、長期保有・積立投資（時間分散）・資産分散投資をお勧めしています。
■資産を守りながら増やす「コア・サテライト」の考え方にもとづき、多様な商品を組み合わせる複数ファンドの併せ持ちをお勧めしています。
■長期継続した資産形成をお勧めしており、投資信託の平均保有期間も改善しています。











百五銀行
FRONTIER BANKING

百五証券
HYAKUGO GROUP
あなたとともに、あらたな明日を

取組方針2　コンサルティングを通じた情報提供により、お客さまにふさわしいサービスを提供します。

お客さまへの適時適切な情報提供・フォローの実施

［原則６（注１・注４・注５）］

■取扱商品の運用状況やマーケット・市場動向を適切にお伝えするとともに、お客さまに有益な情報をお伝えすることに取り組み、個別アフターフォローを継続的に実施しています。
■銀行では、投資信託・運用性保険商品・債券をお持ちのお客さま、証券では投資信託・債券をお持ちのお客さまへの定期的なフォロー・情報提供をルール化しています。

【銀行】【証券】

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面集客でのセミナーは実施しておりませんが、面談や電話等による個別フォローによる情報提供に注力しています。
●マーケット情報の週次配信（銀行）、株式マーケット勉強会の月次開催（証券）など、お客さまへの有益な情報提供に活用するため、社員向けの情報収集機会を充実しています。
●６か月に１回実施する「定期アフターフォロー」等を通じお客さまへのマーケット状況や運用状況の報告を行うほか、適宜、運用会社が作成する臨時レポートやオンラインセミナーのご紹介など、コロナ禍における報提供機会の充実を図りました。
●ご高齢のお客さまに対する販売においては、提案時・販売時・ご購入後のフォローについて、特に綿密かつ適切な説明や確認を行う取扱いとしています。

【証券】

●2021年度より、投信など金融商品をお持ちのお客さまへの定例アフターフォロー基準を見直しし、一層綿密なフォローを徹底する体制としました。
主な変更点は、投信に加え債券についても、下落率の高いお客さまや高齢のお客さまを中心に、定例フォローや月次・随時の各種臨時アフターフォローの社内基準を設け、アフターフォロー態勢を強化し、お客さまへのフォローを充実しています。

地域金融リテラシー向上への取組

百五銀行 FRONTIER BANKING　　百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

●地域金融リテラシー向上に向けた取り組みとしては、県内高等学校・短期大学・大学などにおける投資教育関連セミナーへの講師の派遣を行うなど、若年層向けの投資教育への取り組みを継続しています。

取組方針3　投資のご判断にかかる重要な情報について、わかりやすい説明を行います。

説明態勢の充実と重要情報シートの導入

［原則４／原則５／原則５（注１・２・３・４・５）／原則６（注１・２・３）］

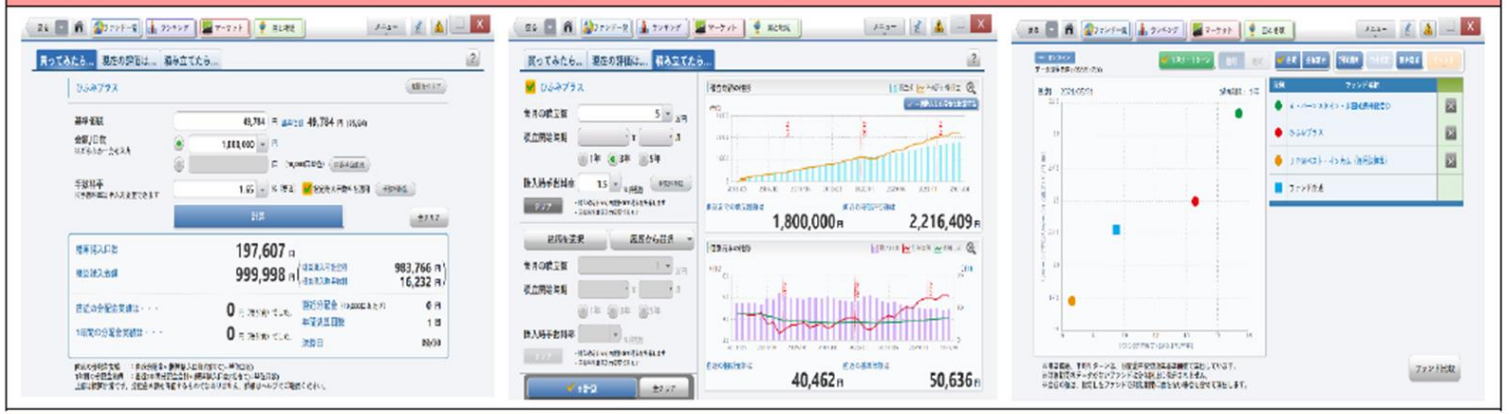
■投資信託の手数料やリスク・商品特性について、分かりやすく説明できるようコンテンツを充実しています。
■よりわかりやすく、比較しやすい説明を実現すべく、投資信託や保険、仕組債の重要情報シートを導入しました。
●金融庁が定める「顧客本位の業務運営に関する原則」原則５【重要な情報の分かりやすい提供】（注４）への対応として、投信運用会社（投信協会）、保険会社（生命保険協会）、証券会社（日本証券業協会）等と連携のうえ同シートの作成を行い、2022年６月から取扱開始しています。

百五銀行
FRONTIER BANKING

●2018年２月に導入した投信情報提供アプリ「QUICK Asset Design Navi」の活用方法の浸透を図り、活用の高度化を引き続き進めています。
●お客さまには、同アプリを活用して、投資信託の手数料やリスク・商品特性について、視覚的に分かりやすい説明を行っています。
●同アプリを搭載したタブレット端末については、2022年4月から稼働しているコンサルプラザに所属する販売担当者全員に配布しております。またこれまで以上にお客さまへ最適な提案ができるよう、本部研修担当による同アプリの研修を行いました。

【銀行】QUICK Asset Design Navi

■手数料シミュレーション　■積立シミュレーション　■リスク・リターンマップ

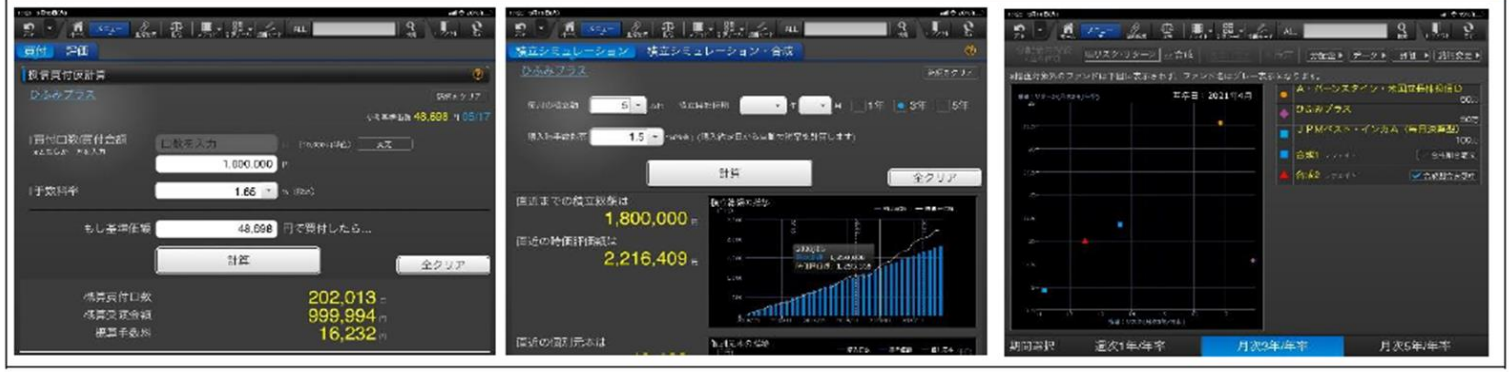


百五証券
HYAKUGO GROUP　あなたとともに、あらたな明日を

●投資信託の提案・販売時に「手数料説明書」を用いて、申込金額に応じた具体的な手数料金額を明示した説明を行っています。
●情報提供アプリ「ＱＲ１」を用いて、手数料シミュレーションや積立シミュレーションを活用するほか、リスク・リターンについてもチャートにより視覚的にわかりやすい説明を実施しています。

【証券】ＱＲ１

■手数料シミュレーション　■積立シミュレーション　■リスク・リターンマップ



取組方針4　グループ総合力を活用し金融商品サービス体制を整備します。

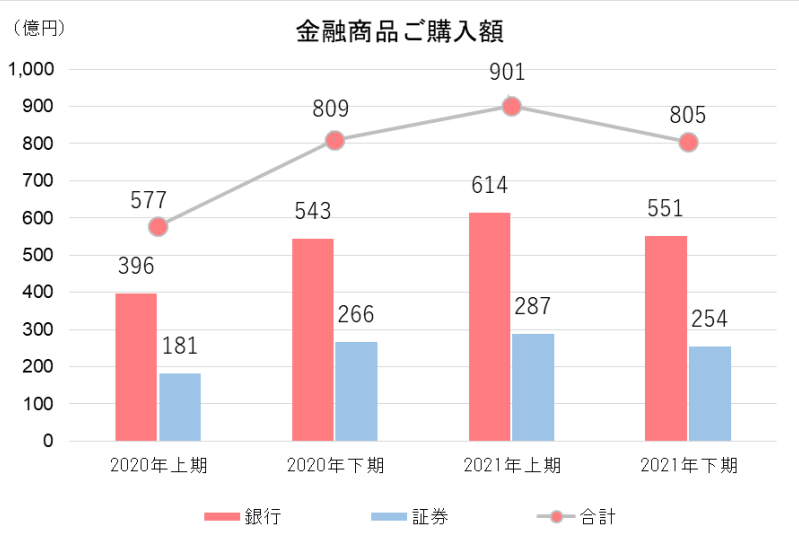
銀証連携体制とグループ協働によるお客さまへの提供サービスの充実

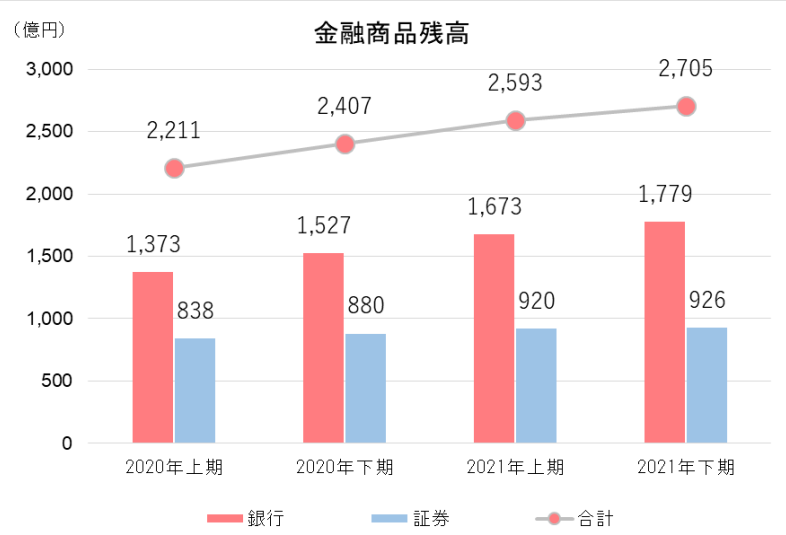
［原則２（注）／原則６／原則６（注２・３）］

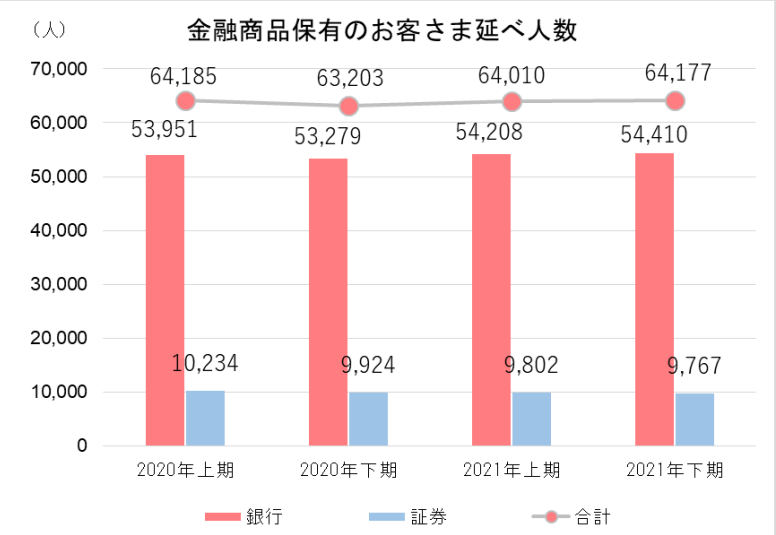
■2019年４月より銀証連携体制を変更。仲介口座での取引拡大、百五証券担当者による仲介先への証券独自商品（ＥＢ債・株式・投資信託等）の販売を開始しており、連携の強化・定着を図ったことにより、お客さまに対するワンストップサービスの提供を実現しています。
■銀行のウェルスマネジメント課（旧資産トータルプランニング課）では、高度な相続提案を実現するため営業店との帯同訪問を増やし、社内税理士もお客さまのサポートを実施しています。相続・事業承継等のニーズがあるお客さまには、同意のある証券のお客さまも含め、グループで連携してサービス提供を行っています。

百五銀行 FRONTIER BANKING　百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

・2021年度のご購入額は高水準を維持し、お預り残高も伸長。金融商品をお持ちのお客さまはグループ全体で延64,000名を超えています。特に営業体制変更により、仲介口座への提案商品が拡大したことが残高増加に寄与しています。







仲介口座での取引実績

	2019年度	2020年度	2021年度	増減
収益（百万円）	172	387	404	17
販売（億円）	180	331	359	28
残高（億円）	272	410	506	96

2021年度　ウェルスマネジメント課　帯同訪問実績

年齢分布	訪問先数	割合	成約件数	成約割合
60歳未満	63	9%	26	41%
60～70歳未満	176	25%	79	45%
70～80歳未満	261	37%	99	38%
80～90歳未満	185	26%	82	44%
90歳以上	26	4%	15	58%
合計	711		301	42%

取組方針5　お客さま本位の営業体制を整備します。

営業人材の育成・指導と適切な評価

［原則２／原則７／原則７（注）］

■販売担当者の育成・営業力強化のための研修・勉強会の実施
【銀行】販売担当者への情報共有、提案・フォローノウハウの浸透と強化を図っており、各種研修や勉強会を実施しています。
①年次に合わせた研修体系を構築し、商品知識やセールススキルに関する研修を実施。
②お客さまの中長期の資産形成に資する提案ができるよう、新ファンド導入時に勉強会を実施。
③預り資産提案時やフォローのためのスキル醸成を図るため、本部担当者による相場見通し音声動画を特に若手行員向けの位置づけとして週次配信。
【証券】販売担当者の顧客対応力を高めるため各種勉強会について、開催頻度増加や内容の改善を図っています。
①新ファンド導入に合わせた勉強会実施により、商品の使い分け、ポートフォリオ提案の実践を浸透しています。
②株式の情報提供力、提案スキル強化のため、マーケット・銘柄の勉強会を毎月実施しています。
③税制や商品知識、マーケット知識、株式銘柄分析などのスキルアップのため勉強会を毎月実施しています。

■お客さまへ専門性を持った提案を実践するため、適切な知識・スキルの醸成に努めています。
■ファイナンシャル・プランナー特にFP技能士1級資格の取得促進を図り、前年度比59名増加しています。

■お客さまの資産形成に資する営業活動を評価する業績評価体系への改善を図るとともに、研修等を通じ、グループ役職員に対して、お客さま本位の業務運営方針の浸透を図っています。
■2019年度より、銀行・証券ともに営業店業績表彰制度におけるストック項目（残高・裾野拡大など）の評点比率を引き上げています。
【銀行】
●2021年度についてはお客さまのニーズ、マーケットに応じた提案・成果が正しく評価される体系への変更を行い、お客さま本位の業務運営が適正に評価されるよう工夫しています。
●2020年度下期より、お客さまの中長期の資産形成に資する営業活動を評価するため、投信残高や積立投資信託の評価基準を高めています。
【証券】
●2021年度には、お客さま本位の業務運営が適正に評価されるよう、お預り残高拡大の評価をさらに高めるとともに、投資信託を活用した資産運用提案を重視する評価体系に変更しています。
●バランスファンドや株式・債券などへの分散投資推進により、多様な資産・商品の預り残高増加を意識したプロセス評価を重視し、中長期の資産形成につなげる提案意識の向上を図っています。

＜2022年３月末＞

◆百五銀行（百五証券への出向者を含む）

FP技能士１級	325名
CFP	21名
FP技能士２級	1,653名
AFP	56名

◆百五証券（金融渉外技能審査1級・2級を含む）

FP技能士１級	7名
CFP	2名
FP技能士２級	77名
AFP	5名

※FP技能士１級、CFPの人数には、両方の資格保有者（百五銀行14名、百五証券2名）を含みます。

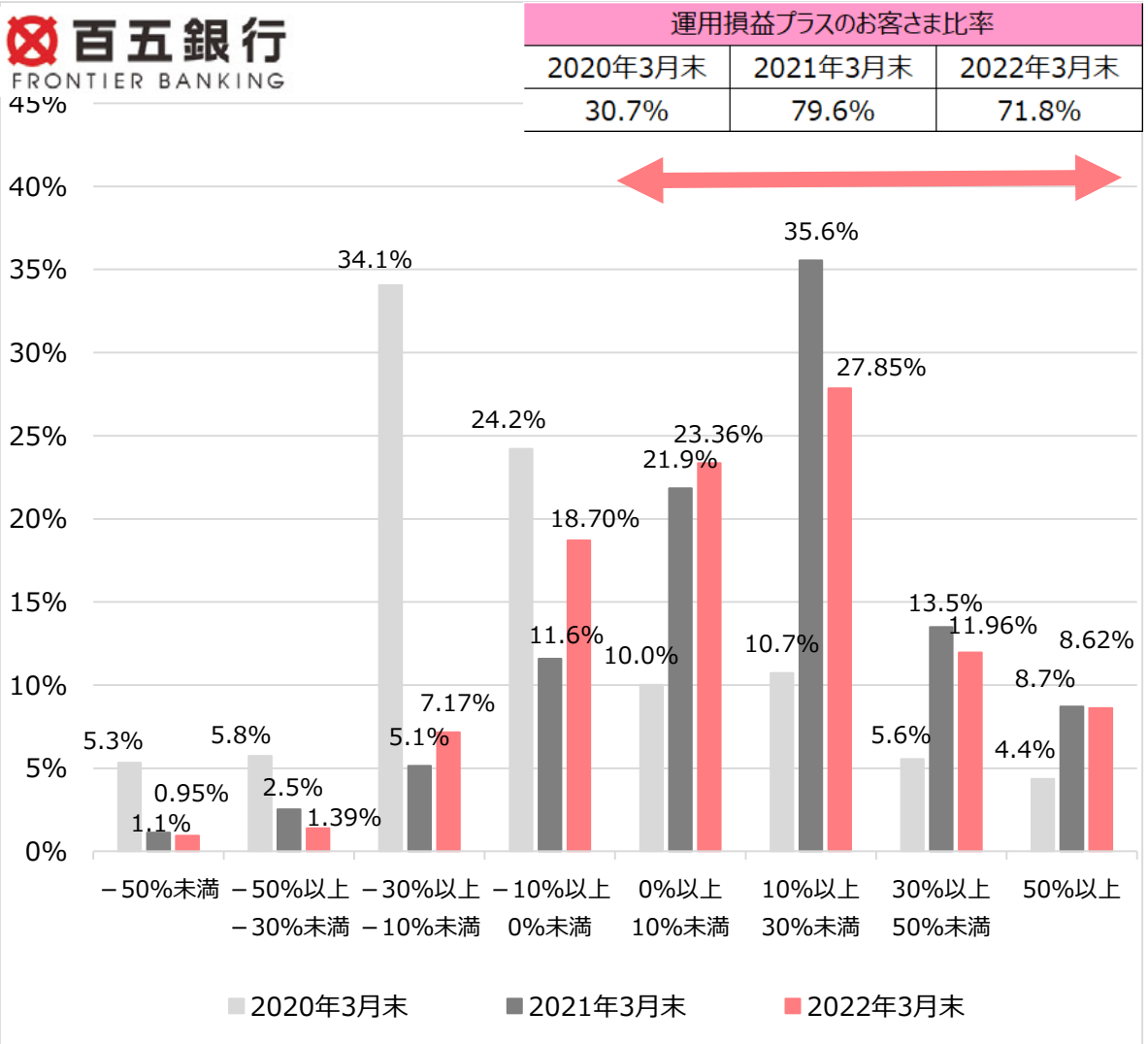
＜参考＞ファイナンシャル・プランナー資格名
ＦＰ技能士：厚生労働省が認定する国家資格。
ＣＦＰ資格：「ＮＰＯ法人日本ＦＰ協会」が認定する上級資格。世界24か国・地域で認められた世界水準資格。
ＡＦＰ資格は、ＣＦＰ資格へのステップとして位置づけられています。

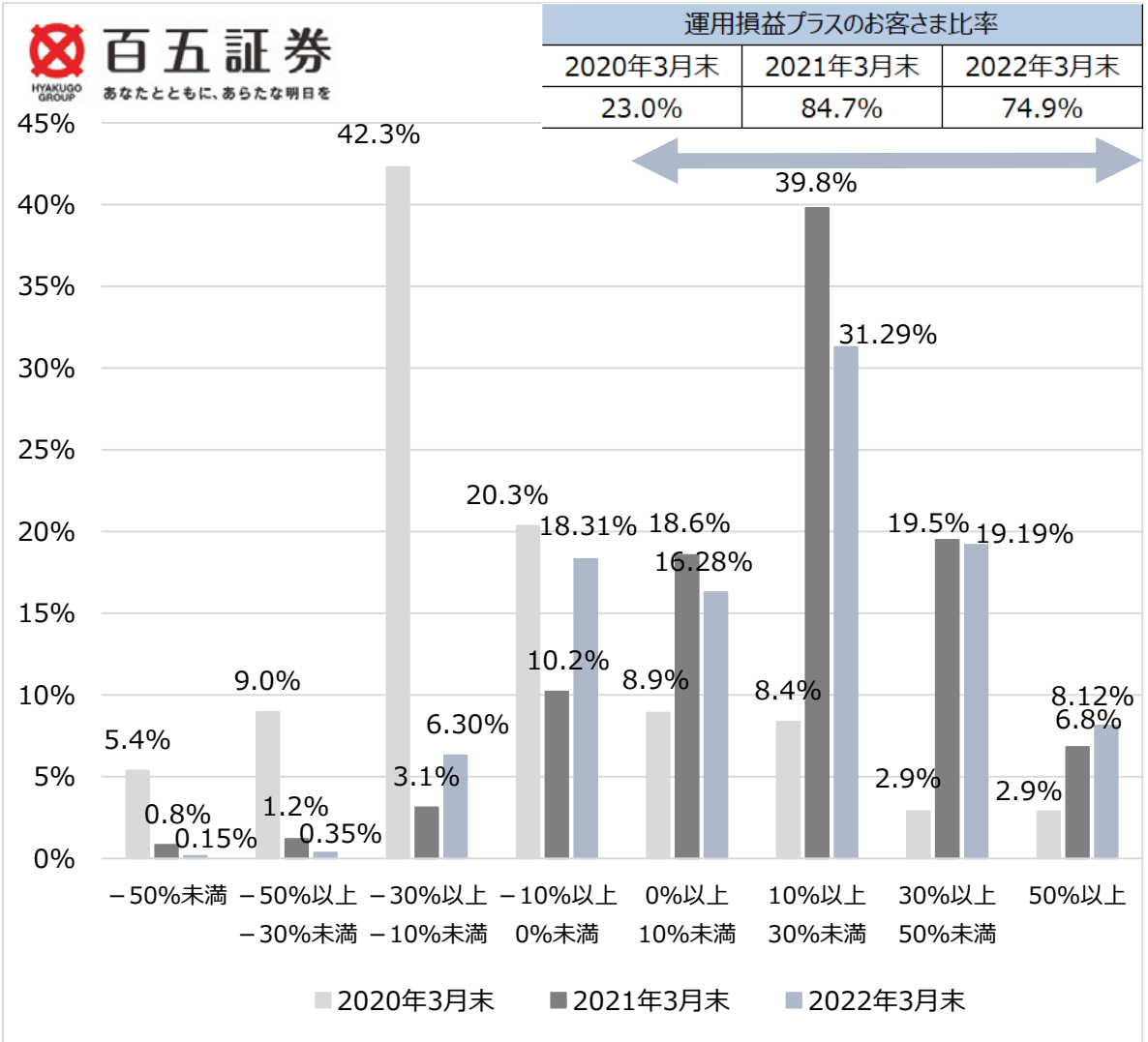
【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

『運用損益別顧客比率』

※対象のお客さま：基準日時点に投資信託を保有している個人のお客さま
※運用損益：基準日時点の「時価評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計購入金額（消費税込の販売手数料を含む）」÷「時価評価金額」

■2022年３月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は、百五銀行71.8%、百五証券74.9%と、2021年３月末（百五銀行79.6%、百五証券84.7%）と比較して、それぞれ減少しました。2022年1月以降の相場の下落が影響しています。





【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』

■2022年３月末時点での、投資信託預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リスク・平均リターンは、以下の通りとなっています。
■百五銀行:平均コスト1.78%／平均リスク14.97%／平均リターン10.84%　■百五証券:平均コスト2.23%／平均リスク17.68%／平均リターン15.81%

百五銀行 FRONTIER BANKING

（単位：%）

	残高上位20銘柄	コスト	リスク	リターン
①	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.22	9.25
②	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｄコース	2.39	16.06	21.09
③	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｃコース	2.39	15.69	17.53
④	ひふみプラス	1.41	16.07	7.83
⑤	日経２２５ノーロードオープン	0.55	16.44	9.13
⑥	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	19.86	9.66
⑦	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	20.07	4.24
⑧	野村インデックスファンド日経２２５	0.44	16.43	9.62
⑨	グローバルＡＩファンド	2.59	24.29	25.61
⑩	投資のソムリエ	1.98	2.99	1.32
⑪	東京海上・円資産バランスファンド（毎月）【円奏会】	1.25	3.6	0.21
⑫	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｂコース	2.39	16.15	21.21
⑬	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.68	6.7	2.31
⑭	東京海上・円資産ﾊﾞﾗﾝｽﾌｧﾝﾄﾞ（年1回決算型）【円奏会】	1.25	3.6	0.21
⑮	東海３県ファンド	1.41	17.38	3.53
⑯	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	1.91	17.94	18.26
⑰	グローバル・ソブリン・オープン（３Ｍ）	1.71	4.12	2.15
⑱	トヨタグループ・バランスファンド	1.53	12.07	5.03
⑲	ＭＨＡＭＪ－ＲＥＩＴインデックスファンド【ﾋﾞﾙｵｰﾅｰ】	1.16	14.7	5.89
⑳	野村インデックスファンド外国株式	0.83	17.02	14.84
	残高加重平均値	1.78	14.97	10.84

百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

（単位：%）

	残高上位20銘柄	コスト	リスク	リターン
①	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｄコース	2.39	16.06	21.09
②	企業価値成長小型株ファンド	2.26	25.07	23.94
③	新光　ＵＳ－ＲＥＩＴ　オープン	2.34	16.83	9.74
④	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｃコース	2.39	15.69	17.53
⑤	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	15.22	9.25
⑥	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｂコース	2.39	16.15	21.21
⑦	トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド	1.09	19.86	9.66
⑧	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	2.60	19.45	16.64
⑨	日経２２５ノーロードオープン	0.55	16.44	9.13
⑩	ひふみプラス	1.41	16.07	7.83
⑪	グローバルＡＩファンド	2.59	24.29	25.61
⑫	ピクテ・バイオ医薬品Ｆ（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.75	19.7	6.13
⑬	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	2.75	18.24	22.31
⑭	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.60	19.54	16.57
⑮	ＭＳグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64	13.29	13.78
⑯	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26	20.07	4.24
⑰	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.67	6.70	2.31
⑱	ＭＳグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）	2.64	11.48	10.29
⑲	フィデリティ・ＵＳハイ・イールド・ファンド	2.40	10.02	6.22
⑳	日本株厳選ファンド・円コース	2.41	16.58	5.62
	残高加重平均値	2.23	17.68	15.81

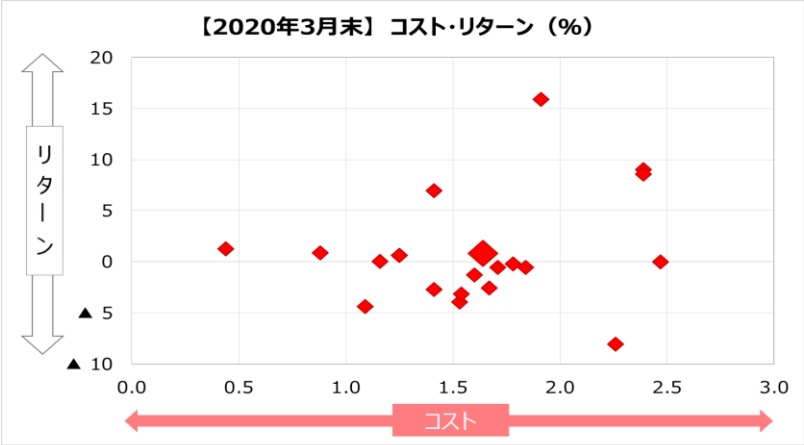
【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

【コスト・リターン／リスク・リターン】
※本共通ＫＰＩは、金融庁が公表した基準にもとづき算出
※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後５年以上の銘柄に限定）
※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値
※リターン：過去５年間のトータルリターン（年率換算）
※リスク：過去５年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

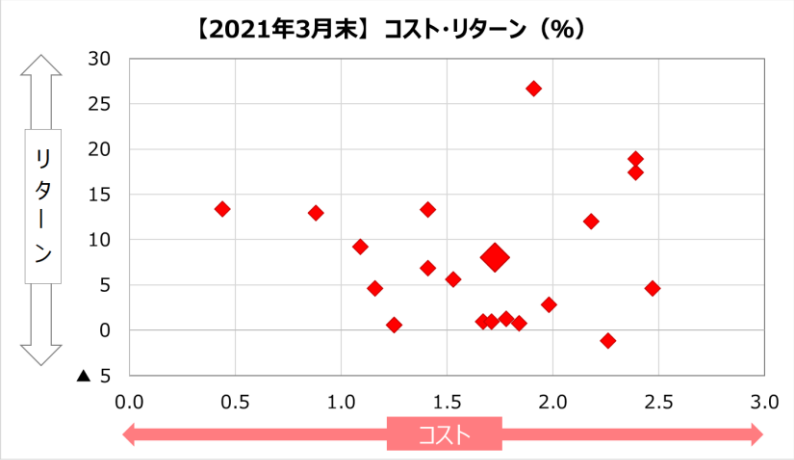
『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン』

百五銀行 FRONTIER BANKING

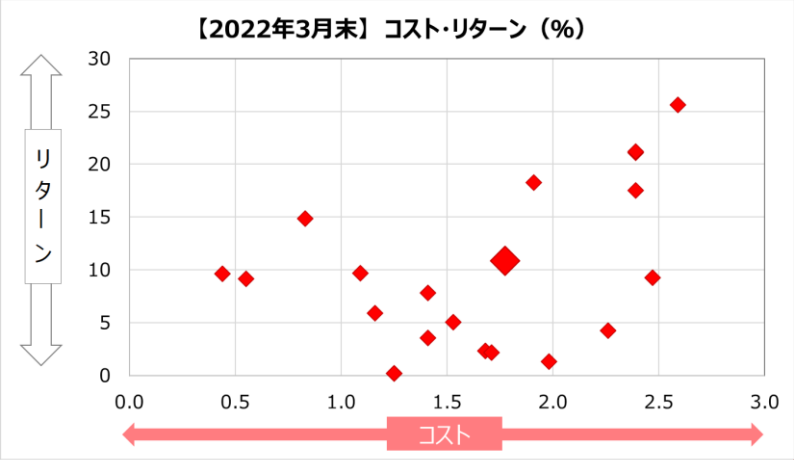
■直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト・平均リスク・平均リターン



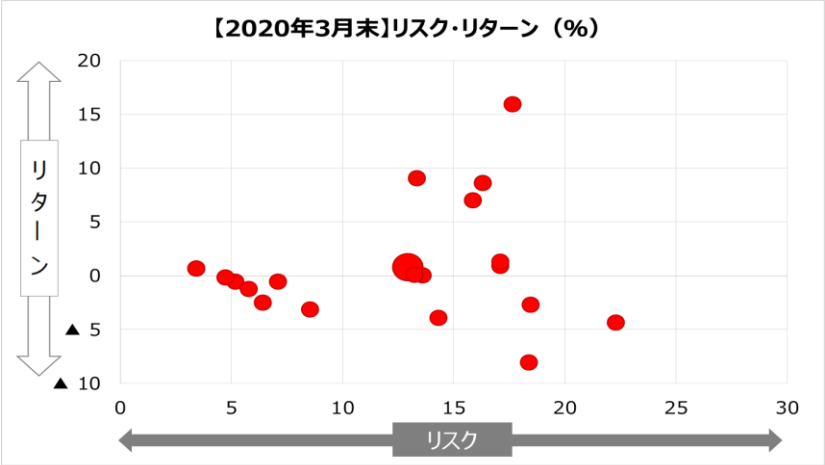
【2020年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	1.64%	0.78%



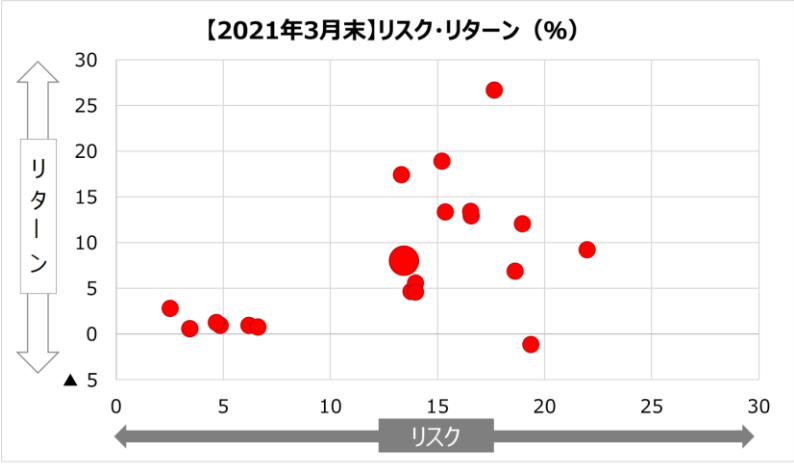
【2021年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	1.73%	7.99%



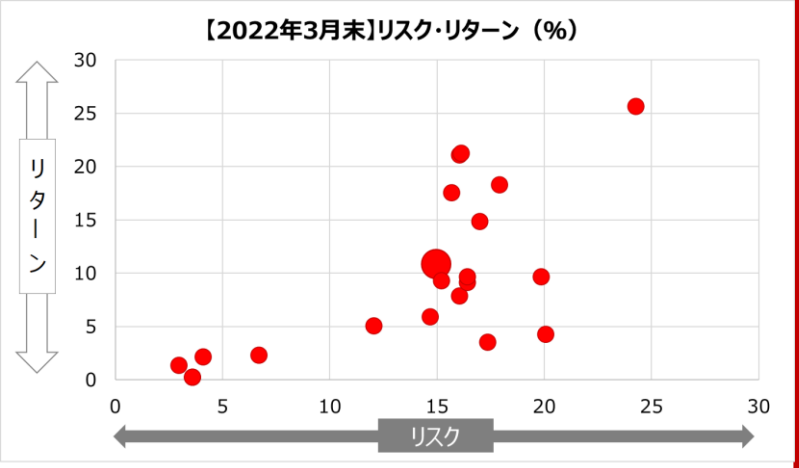
【2022年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	1.78%	10.84%



【2020年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	12.95%	0.78%



【2021年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	13.46%	7.99%



【2022年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	14.97%	10.84%

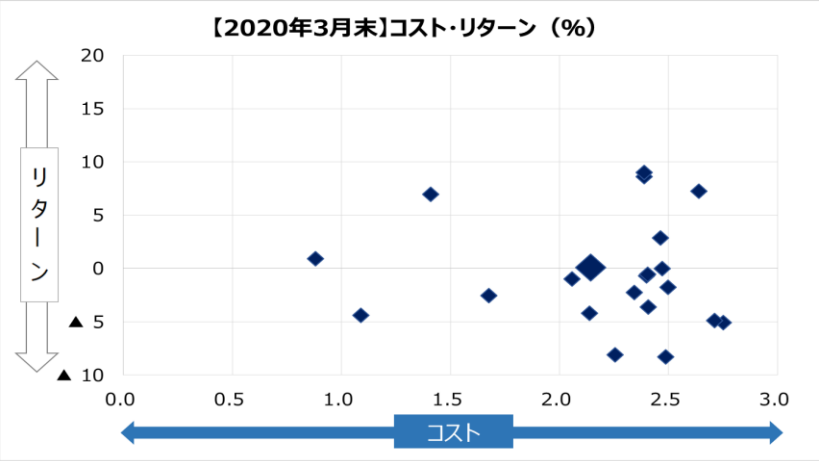
【ご参考】 投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

『預り残高上位20銘柄のコスト･リターン／リスク･リターン』

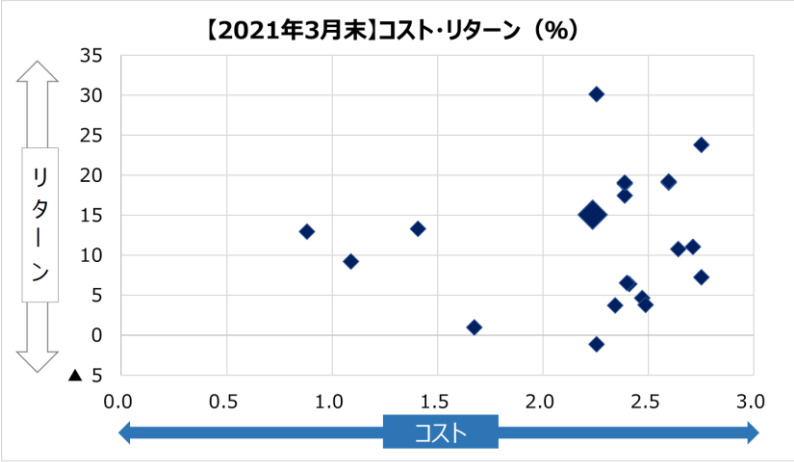
百五証券 HYAKUGO GROUP あなたとともに、あらたな明日を

■直近3年間における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コスト･平均リスク･平均リターン

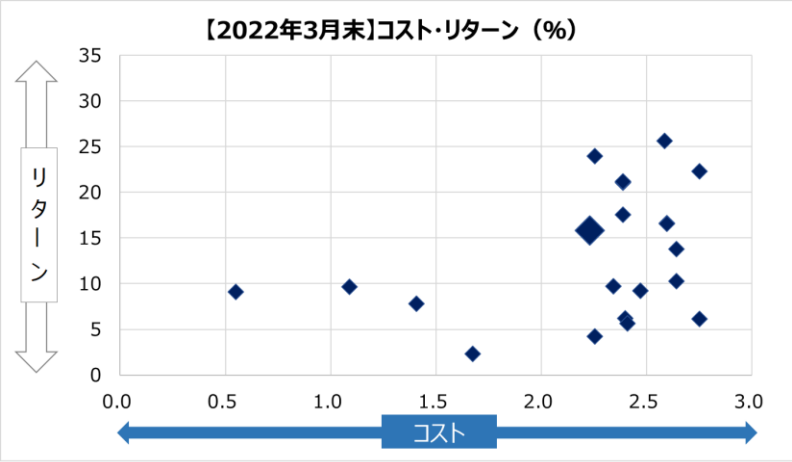
【コスト･リターン／リスク･リターン】
※本共通ＫＰＩは、金融庁が公表した基準にもとづき算出
※対象銘柄：投資信託の預り時価残高上位20銘柄（設定後５年以上の銘柄に限定）
※コスト：基準日時点の販売手数料（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値
※リターン：過去５年間のトータルリターン（年率換算）
※リスク：過去５年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



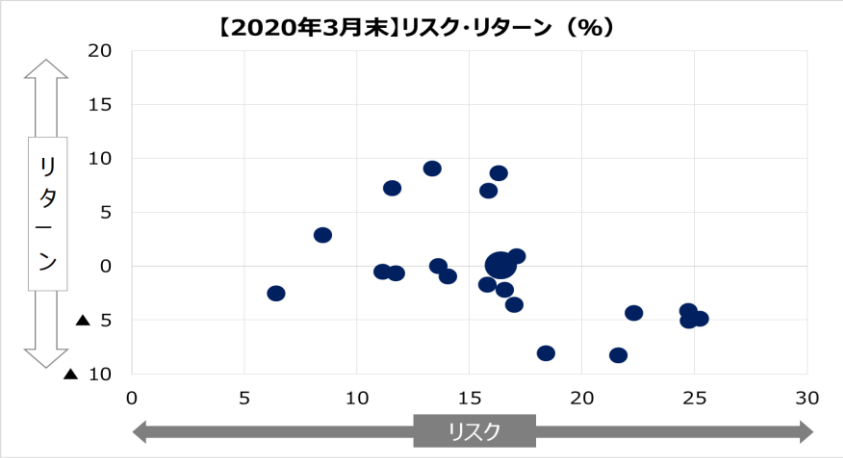
【2020年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	2.14%	0.07%



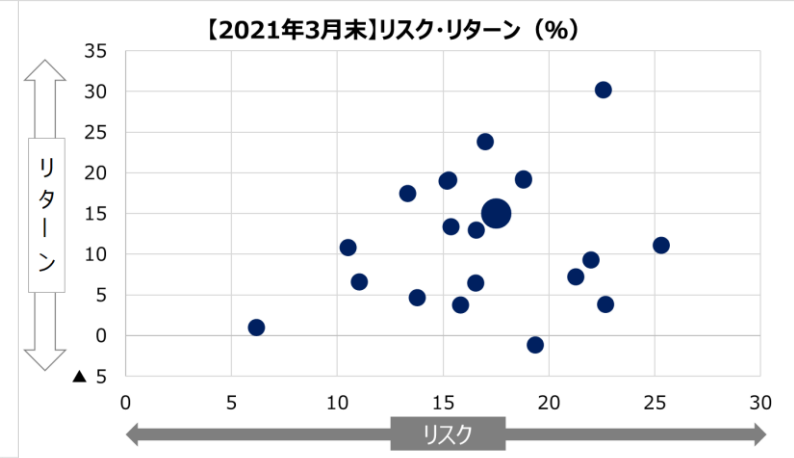
【2021年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	2.24%	15.00%



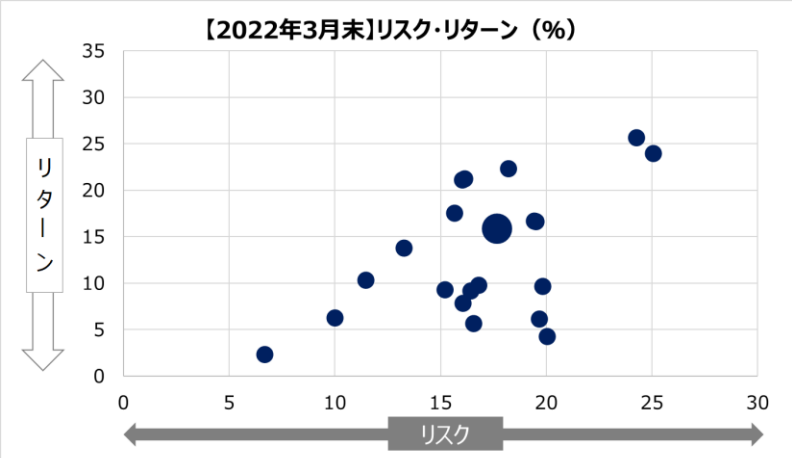
【2022年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	2.23%	15.81%



【2020年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	16.39%	0.07%



【2021年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	17.54%	15.00%



【2022年3月末】	リスク	リターン
残高加重平均値	17.68%	15.81%

【ご参考】 保険商品の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

『運用損益別顧客比率』

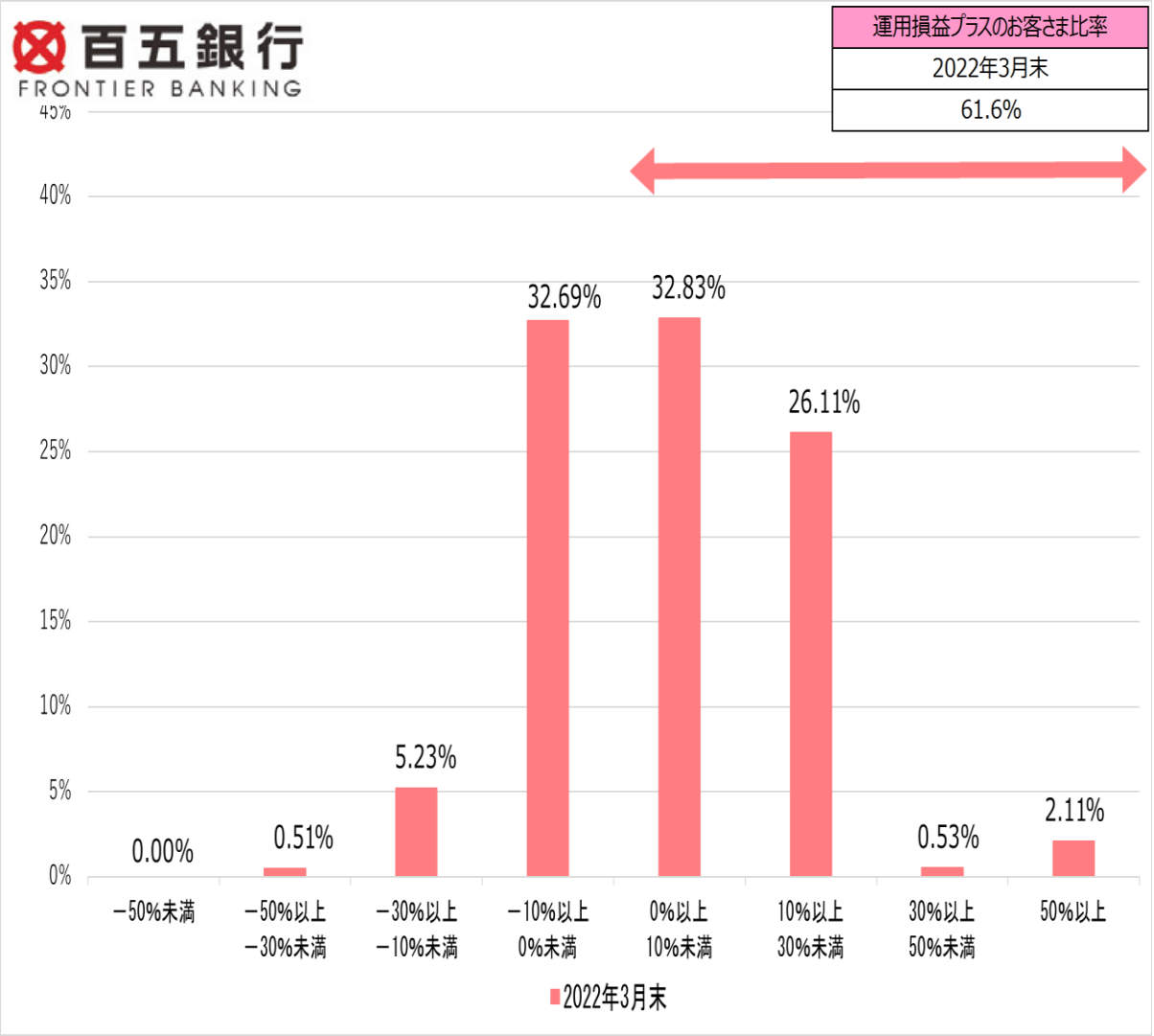
■2022年３月末時点における運用損益がプラスのお客さまの割合は、61.6%となりました。

百五銀行
FRONTIER BANKING

今般、お客さま本位の良質な金融商品やサービスを提供する金融事業者の選択にさらに資するとともに、お客さまが各業態の枠を超えた商品の比較を容易にする観点から、投資信託と類似の機能を有する金融商品として、比較推奨が行われている外貨建保険についても、投資信託の共通KPIと同様の基準で定義した指標を今年度から公表いたします。

＜補足＞
・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
・基準日・・・2022年3月31日時点
・対象・・・基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
　除外しているもの・・・円建一時払保険。平準払保険。
　　介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。
　　基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、
　　当初外貨建一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。
　　損益計算不能な契約。

＜保険商品の保障性について＞
・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。



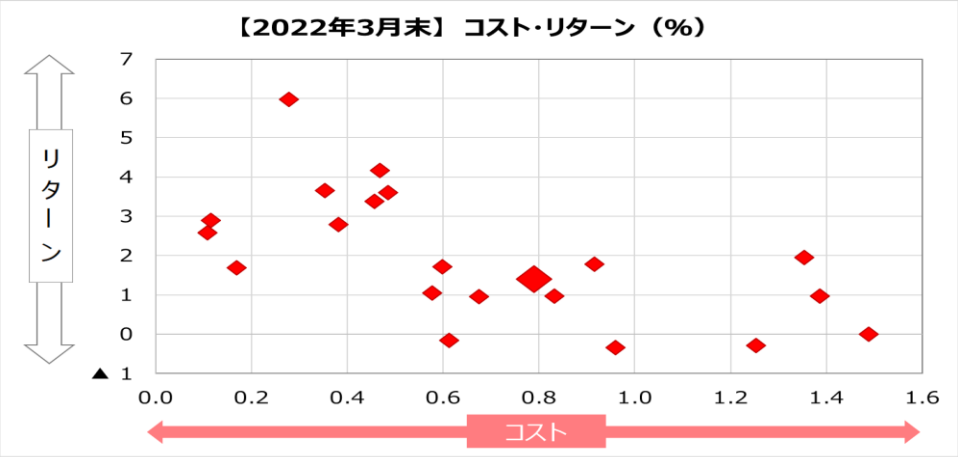
【ご参考】 保険商品の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

『預り残高上位20銘柄のコスト・リターン』

■2022年３月末時点での、保険預り残高上位20銘柄および平均コスト・平均リターンは、以下の通りとなっています。
■平均コスト0.86%／平均リターン1.24%。

百五銀行
FRONTIER BANKING

	残高上位20銘柄	コスト	リターン
①	サニーガーデンＥＸ	0.92	1.78
②	到達力Ｖ２	1.25	-0.30
③	サニーガーデン	0.67	0.95
④	ビーウィズユー（ＵＳドル建）	0.46	3.38
⑤	未来を楽しむ終身保険	1.39	0.97
⑥	到達力Ｖ	0.96	-0.34
⑦	三大陸	0.58	1.05
⑧	生プレワールド３	0.83	0.96
⑨	やさしさ、つなぐ	0.61	-0.15
⑩	ロングドリームＧＯＬＤ	0.60	1.71
⑪	到達力Ｖ３	1.49	0.00
⑫	シリウスハーモニー	0.17	1.69
⑬	シリウスデュアル	0.12	2.90
⑭	ロングドリーム	0.35	3.65
⑮	シリウスプラス	0.11	2.57
⑯	生涯プレミアム	0.28	5.98
⑰	プレミアジャンプ２・年金（外貨建）	1.35	1.95
⑱	指定型年金豪ドル	0.38	2.78
⑲	ロングドリームプラス	0.47	4.17
⑳	アドバンテージ・セレクトＰＧ	0.49	3.60
	残高加重平均値	0.86	1.24



【2022年3月末】	コスト	リターン
残高加重平均値	0.86%	1.24%

＜補足＞
・本データは保険会社が保有している、当行取扱分契約データから算出しています。
・基準日・・・2022年3月31日時点
・対象・・・基準日時点で契約開始から60ヶ月以上経過した外貨建一時払保険契約で、
残高（基準日時点の解約返戻金額＋既支払金額）の合計額の上位20銘柄を基準としています。
除外しているもの・・・円建一時払保険。平準払保険。
介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品。
基準日時点で、解約済みのもの、年金の支払いが開始している年金契約、
当初外貨建一時払保険であったが円建保険に移行しているもの。
損益計算不能な契約。
・手数料率は保険会社から提供された商品ごとの手数料率を基準としており、
複数の手数料率が設定されている場合はその最大値を参照しています。

＜保険商品の保障性について＞
・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
・本指標は解約返戻金をベースとしており、運用の側面から保険商品をとらえた指標となっているため、保険商品をご検討の際は、保険特有の保障などの特性も合わせて確認する必要があります。